

黄色と緑色のバンダナ活用事例

●瀬谷第一地区社協

8月31日(日)瀬谷中学校において**防災拠点秋季訓練**が実施されました。当日は特設公衆電話の設置訓練に始まり、区割り訓練(1人分のスペースの広さなどを体験)を行いました。また、実際に阪神淡路大震災の映像を見て、災害に対する対策の必要性を感じました。

今回は初の試みで、瀬谷第一地区内にある障害福祉サービス事業所「リサイクルバザー」の通所者の方も参加。黄色と緑色のバンダナについても訓練に参加している地域住民の方へ周知しました。



●瀬谷第二地区社協

毎年防災訓練の中で「**災害時要援護者の避難受入訓練**」を行っています。地域内にある障害者グループホーム「ききゅう船」の入居者と職員の参加もあり、実際に即した訓練となっています。訓練は黄色のバンダナを付けた人を、緑色のバンダナを付けた人が探して本部まで誘導する、という内容であり、誘導している間に、バンダナの活用方法についての説明をした結果、参加者から活用法が分かって良かった、という声をいただきました。



●阿久和南地区社協

平成25年度より、地区社協が「**障害児・者、支援者のネットワーク**」を立ち上げ、防災をテーマに地区社協役員や地域の防災拠点運営委員、阿久和南部地区内にある障害関係施設や事業所、地区支援チームがメンバーとなり、地域で取り組めることがないか話し合ってきました。平成26年度、実際に障害者の方も地域の防災訓練に参加していくことや、「黄色と緑色のバンダナ」について啓発していくことを目的として、8月31日(日)に原小学校の防災訓練に「地域活動支援センターともしび」の利用者3名と職員1名が参加しました。訓練時には、防災拠点運営委員長より、黄色と緑色のバンダナについて地域住民の方へご説明いただき、周知しました。



平成26年度、実際に障害者の方も地域の防災訓練に参加していくことや、「黄色と緑色のバンダナ」について啓発していくことを目的として、8月31日(日)に原小学校の防災訓練に「地域活動支援センターともしび」の利用者3名と職員1名が参加しました。訓練時には、防災拠点運営委員長より、黄色と緑色のバンダナについて地域住民の方へご説明いただき、周知しました。

平成26年度事業計画

平成26年度も引き続き

活動主体の支援として地域福祉活動の推進と、その活動を広く区民にアピールするための広報啓発活動を積極的に行います。特に今年度は個別支援や障害支援を継続的にするために、地域ケアプラザと協働した事業を進めます。

25年度事業報告と26年度事業計画の詳細については本会ホームページをご覧ください。

身近事業の紹介

平成25年度から「**身近な地域のつながり・支え合い活動推進事業**」を実施しています。

平成26年3月30日に阿久和団地集会所で「春休みお昼ご飯」というイベントを阿久和団地第一・第二自治会・阿久和地域ケアプラザと共催で開催しました。当日は100人を超える小学生が参加し、地域の方が作ったカレーに舌鼓を打ちました。



障害児余暇支援事業「みーとすまいる」

本年度で3年目を迎える障害児余暇支援事業「みーとすまいる」。平成26年7月19日(土)に二ツ橋第二地域ケアプラザと共催で実施しました。

今回もNPO法人ピープウ・ラボさんを講師にお招きし、音楽プログラムで楽しみました。また初の試みとして、武藤講師によるパルーンアートプログラムを行いました。どちらのプログラムもとても好評で、参加者の方からは「なかなかこのような機会がないので嬉しかった」との感想をいただきました。活動にはボランティアさんも参加し、和気あいあいとした雰囲気でした。次回は11月を予定しています。



コミュニケーションボードの普及

コミュニケーションボードとは、人とのコミュニケーションが苦手な自閉症や知的障害の方などと、周囲の人たちとの間をつなぐ話し言葉に代わるものの一つです。文字や言葉で意思を伝えることが難しくても、ボードの絵を指さして意思を伝えることが出来る人もいます。

瀬谷区では平成25年度に「ファミリーマート」に、お店版ボードの設置を行いました。今後はより多くのお店に活用いただき、店員さんに障害についてご理解いただけるような取り組みを行います。

この取り組みは、セーフティネットプロジェクト横浜が市域で行っている取り組みで、ボードの他にも、持ち運びの出来るコミュニケーションカードの普及も行っています。コミュニケーションボードのイラストから、必要なイラストを選んで自分で作成することが出来ます。詳しくは

<http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/safetynet/cboard.html>にて。



福祉教育支援事業

区社協では、学校や地域等への福祉学習の実施を行っています。主に障害についての理解啓発については、実際に障害者自身の話を聞いたり、点字や手話、車いすの体験をしたり、障害の理解啓発を目的としているグループの話や、高齢者理解として疑似体験をしたりと、内容はさまざまです。平成25年度は25件の学校や地域からの依頼があり、講師の調整を行い実施しました。平成26年度からは、プログラム内容に精神障害の理解についても取り上げていこうといった動きもあります。福祉に優しいまちを目指して、今後も福祉学習の啓発に取り組んでいきます。

車いす体験/聴覚障害当事者のお話/手話体験



地区社協の「facebook」を紹介します!!

瀬谷区社会福祉協議会のホームページに、区内12地区社協で実施されているイベントが掲載されているのはご存知でしょうか?ホームページの右側にある「**区社協・地区社協のFacebookはこちら**」というタブをクリックしていただくと、見ることが出来ます。

現在は区社協の職員が参加したり、見てきたりした情報を掲載していますが、今後は地域のイベントの予定や、みなさんからいただいた情報がタイムリーに掲載できるようにしていきたいと思っています。

地区社協情報Facebookをとときき見ていただき、「いいね!」を押していただくと、いろいろな方へ広がりますし、やりがいもでするので、ぜひご覧ください。

瀬谷区社会福祉協議会ホームページは「<http://seyaku-shakyo.jp>」、又は「瀬谷区社会福祉協議会」で検索!!

黄色と緑色のバンダナ

身近事業の紹介

障害児余暇支援事業「みーとすまいる」

コミュニケーションボードの普及

福祉教育支援事業

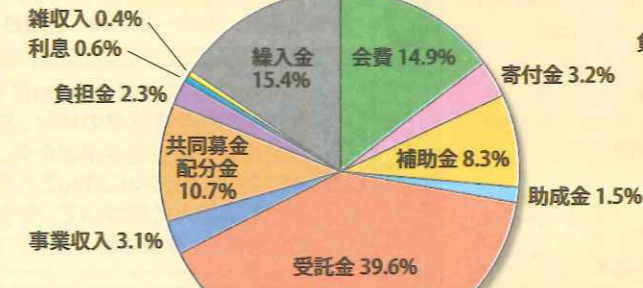
コミュニケーションボード

社協の樹に事業の花が咲く

平成25年度

瀬谷区社協 決算報告

収入 65,767,122円



支出 65,212,332円

